

- 02 南島原市の2025年はこんなことがありました
- 03 令和8年 新年のごあいさつ
- 04 南島原市20年のあゆみ
- 06 イベント情報
- 08 令和遣欧少年使節海外派遣事業
- 10 まちの話題
- 14 長崎県知事選挙
- 16 市政通信
- 22 島原半島世界ジオパーク 教えて！国民年金
- 23 南島原図書館だより
- 24 国際交流員コラム
- 25 こんにちは！消費生活センターです イタリア語講座
- 26 インフォメーション
- 30 民生委員・児童委員の皆さん お世話になります
- 32 保健・子育て
- 34 市民カレンダー

市役所の担当課がわからないときは

南島原市役所

☎73-6600

月～金曜日(祝・休日を除く)
[受付時間] 8:30～17:15

南島原市に関するさまざまな制度や手続きなど、気軽にお問い合わせください。

市HP(ホームページ)で
さまざまな
情報を配信！



あなたが欲しい情報をお届けします
南島原市LINE
公式アカウント



南島原市の人口と世帯数

令和7年11月末日現在(前月比)
●人口: 39,853人(-50)
●男性: 18,646人(-15)
●女性: 21,207人(-35)
●世帯数: 18,298世帯(-8)

南島原市の2025年はこんなことがありました

2025年は皆さんにとってどのような1年だったのでしょうか？
南島原市の1年もいろいろな出来事がありました。写真とともに振り返ります。

- 1月 ●南島原市二十歳のつどい
●南島原市消防出初式 ①
- 2月 ●原城マラソン大会
●オリジナルLINEスタンプが完成
- 3月 ●サイクリングイベント「ツール・ド・南島原」初開催 ②
●第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結
●松本梨香さんコラボ絵本が完成
●主要地方道小浜北有馬道路「大亀矢代トンネル(仮称)」貫通式
- 4月 ●市制施行20周年記念ロゴ完成 ③
●第136回長崎県市長会議開催
●6年ぶりに「自然と遊ぼう2025」開催
- 5月 ●新商品の南蛮菓子が完成 ④
●広報紙リニューアル
●口之津歴史民俗資料館会館5周年
- 6月 ●「イオン九州環境特別WAONポータルポイント」寄付金贈呈式
●オーガニック給食を実施
- 7月 ●道の駅ひまわりでそうめん流し
●宮崎副市長が就任
●国際交流員エマさんが離任
●市内初 略式代執行による特定空家の除去
- 8月 ●B&G「先進的海洋センター整備事業」事業連携協定を締結 ⑤
●天正遣欧少年使節ゆかりの地中学生派遣
- 9月 ●島原半島ジオパークユネスコ世界ジオパーク再認定
●ながさきピース文化祭2025開催 市内でも関連イベント開催 ⑥
- 10月 ●国際交流員リキさんが着任
●令和遣欧少年使節団を派遣
●南島原市果樹農業研修第3期生入所
●原城跡周遊タクシー実証運行
- 11月 ●九州オルレ南島原コース「～秋のフェア10周年オルレ～」開催
●V・ファーレン長崎最終戦パブリックビューイングを開催
●第2回「ツール・ド・南島原」開催
- 12月 ●日本生命保険相互会社と包括連携協定を締結
●遠隔相談窓口サービスを開始



令和8年
午年

謹賀新年

新年のごあいさつ



謹んで新年のご挨拶を
申し上げます

南島原市議会議員 吉田 幸一郎

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、令和8年の新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろより、議会運営並びに議会活動に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え、議会の代表としてその責任の重さを改めて感じますとともに、本市の更なる発展に向けて、努力してまいりたいと決意を新たにしているところです。

さて、昨年7月に参議院議員通常選挙が行われ、10月には高市新内閣が発足しましたが、今後も国の施策を注視しながら本市に適した事業を積極的に展開するとともに、能登半島地震の教訓を踏まえ、半島に位置する本市においても、激甚化・頻発化する自然災害から市民を守るため国土強靱化の推進について、強く国に要望してまいります。

併せて、島原半島南部地域高規格道路建設促進特別委員会においては、構想路線である「島原本草長島連絡道路(深江町～口ノ津港間)」と雲仙市小浜町をつなぐ「島原半島西回り道路」の早期事業化に向け、国・県への要望活動を引き続き行ってまいります。

昨年11月29日には、本市出身の高木監督や江川選手が所属されておりますV・ファーレン長崎が8年ぶりのJ1昇格を果たしました。当日は、南島原市内でもパブリックビューイングが開催され、約600名の市民の皆様による選手への大きな声援で、会場内は熱気と一体感に包まれ、市民に夢と感動を与えてくれました。

また、市民の皆様にも御心配をおかけしております、サテライトオフィス等開設支援事業補助金につきましては、現在、第三者委員会におきまして、調査が行われておりますが、今年の3月末までには調査報告書が提出される予定です。

そういった様々な状況を踏まえ、市民の皆様へ寄り添い、信頼される、開かれた市議会となるように今後も努力を重ねてまいります。市議会としまして、市民の皆様のご多様なご意見を市政に反映させ、より良いまちづくりに全力を尽くしてまいります。

市民の皆様におかれましては、今年も変わらぬご理解とご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様にとりまして、幸多き実りある年となりますことを議員一同、心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

未来を創る市政、
地域を活かす経済

南島原市長 松本 政博

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかで希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は市政に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、大阪・関西万博や訪日外国人旅行者の増加など、日本が世界中の旅行者にとって魅力的な国として注目を集めた年でした。

本市ではツール・ド・南島原をはじめ、各種イベントを開催し、多くの来訪者で賑わいを見せました。また、本市出身の高木監督及び江川選手が所属するV・ファーレン長崎が8年ぶりのJ1昇格を成し遂げ、市内で開催したパブリックビューイングでは、多くの市民の皆様が会場に集まり、その瞬間を興奮と感動で迎えたところです。

一方で、市民の生活面では、年末が近づくにつれ、ガソリン価格が値下がりを見せたものの、依然として食料品や生活用品の物価上昇は、各家庭の経済的負担になっているところ。

そのため本市では、消費喚起クーポンや物価上昇対策などを実施し市民の生活を支援してまいりました。今年も社会情勢に合わせた取り組みを進めていきます。

その他には、医療提供体制確保事業や農業用ドローンの普及支援、中小企業ステップアップ事業のDX化・事業継承に対する支援制度拡充、デジタル相談窓口の設置など、新たな取り組みを行い、本市の未来を見据えた施策を展開してきました。

本年は、農林水産業やそうめん産業など主要な地場産業の更なる振興を図るとともに、事業継承対策、積極的な事業創出、企業誘致への取り組みなど、トップセールスを行いながら本市の魅力をPRし、更なる地域経済の活性化を図っていきます。また、定住移住施策の促進、環境負荷低減の強化、福祉や教育環境の更なる整備を進めます。さらには、自転車歩行者専用道路の早期全線開通や原城跡世界遺産センターの供用開始を目指し、地域発展に寄与する施策を進めてまいります。

今後も市民の声を大切にし、持続可能な財政運営を実現しながら、「これからも住み続けたい住んでみたい」と思える未来(まち)づくりを目指していきますので、今後も皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。